

# 海外現地法人の動向（要旨）

＜海外現地法人四半期（平成 23 年 4-6 期）調査＞

～ 平成 23 年 8 月実施 ～

平成 23 年 9 月 26 日  
経 済 産 業 省  
大臣官房調査統計 G

## ★ 売上高 DI 7-9 は 23.9、10-12 は 25.5 と 2 ケタのプラス水準 ★

### 1. 見通し(現状判断 DI<sup>(\*)</sup>：平成 23 年 7-9 月、先行き DI：平成 23 年 10-12 月)

- (1) 売上高 DI は、現状判断及び先行きとも 10 期連続のプラス水準で推移し、現状判断は 5 期ぶりに前年同期を上回った。現状判断 DI 23.9、先行き DI 25.5 とプラス水準で推移し、前年同期差は、現状判断が 5 期ぶり、先行きが 2 期ぶりにプラスに転じた。現状判断 DI を地域別にみると、北米がプラス水準に転じ、アジアはプラス水準を高めている。先行き DI は各地域で高いプラス水準となっている。
- (2) 設備投資額 DI は、現状判断及び先行きとも 9 期連続プラス水準で推移し、現状判断は 3 期ぶりに僅かながら前年同期を上回った。現状判断 DI 17.9、先行き DI 9.5 とプラス水準で推移し、前年同期差は、現状判断 DI 0.4 ポイントのプラス、先行き DI ▲3.3 ポイントのマイナス。北米、アジアをはじめ、すべての地域で現状判断 DI、先行き DI ともプラス水準で推移している。
- (3) 従業者数 DI は、現状判断及び先行きとも 9 期連続のプラス水準で、2 期ぶりに前年同期を上回った。

### 2. 実績（平成 23 年 4-6 月、前年同期比伸び率）

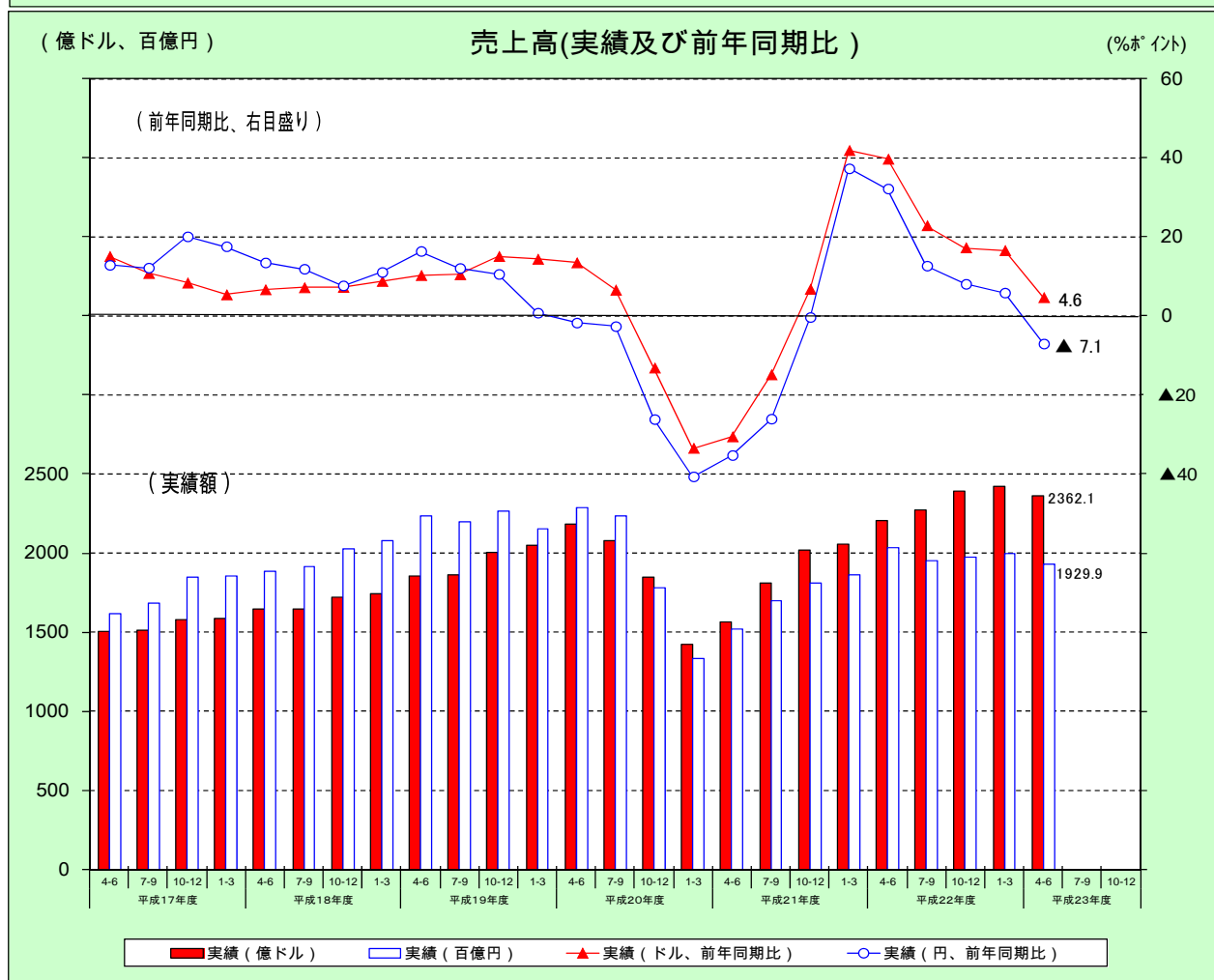
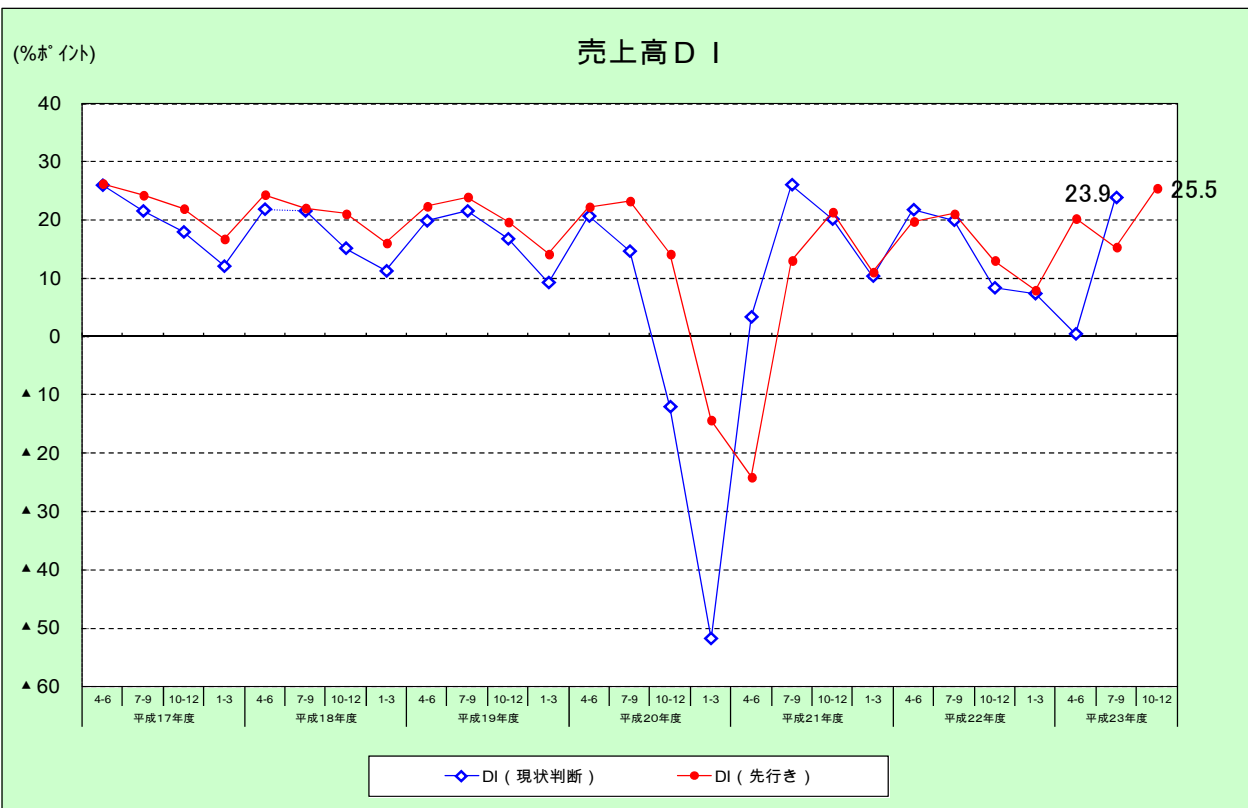
- (1) 売上高（ドルベース）は、2362 億ドル。前年同期比は 4.6%増と 7 期連続のプラスとなっている。地域別にみると、欧州（同 17.9%増）、アジア（同 7.2%増）はプラス、北米（同▲7.4%減）はマイナス。
- (2) 設備投資額（ドルベース）は、68.7 億ドル。前年同期比は 38.7%増と 5 期連続のプラス。アジア（同 38.5%増）、欧州（同 38.4%増）、北米（同 24.7%増）とプラス。
- (3) 従業者数は、362.6 万人。前年同期比は 2.9%増と 6 期連続のプラス。欧州（同 6.9%増）、アジア（同 2.7%増）、北米（同 0.3%増）とすべての地域でプラス。

\* 1「DI」は、調査実施時点を含む四半期（現状判断）及びその翌四半期（先行き）に関し、それぞれ前四半期と比較した見通しについて「増加」と回答した企業の構成比－「減少」と回答した企業の構成比（%）で算出。

「前年同期差」（現状判断及び先行き）は、当期の DI 値－前年同期の DI 値でそれぞれ算出。

本文中、DI 値は数値のみ（例▲5.5）、DI の前年同期差は数値に「ポイント」を付して（例▲5.5 ポイント）記述。

\* 調査対象は、日本企業（金融・保険・不動産を除く全業種で、資本金 1 億円以上、従業者数 50 人以上の日本企業）の直接出資と間接出資を合わせた出資比率が 50%以上、従業者数 50 人以上、製造業、の条件を満たした海外現地法人。



## 1. 見通し

### (1) 売上高見通し

#### <全地域>

- 現状判断 DI（平成 23 年 7-9 月期）は、23.9 と 10 期連続プラス水準。前年同期差（平成 22 年 7-9 月期の現状判断 DI に比べ）は、3.9 ポイントと 5 期ぶりにプラスに転じた。主要 4 業種<sup>(※1)</sup>は、輸送機械もプラスに転じ、すべての業種でプラスの水準となった。前年同期差は輸送機械が突出したプラスを示している。北米がプラスに転じ、アジアもプラス水準が高まっている。
- 先行き DI（平成 23 年 10-12 月期）は、25.5 と 10 期連続のプラス水準。前年同期差は、12.4 ポイントと 2 期ぶりのプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準。前年同期差もすべてプラス。

#### <北米>

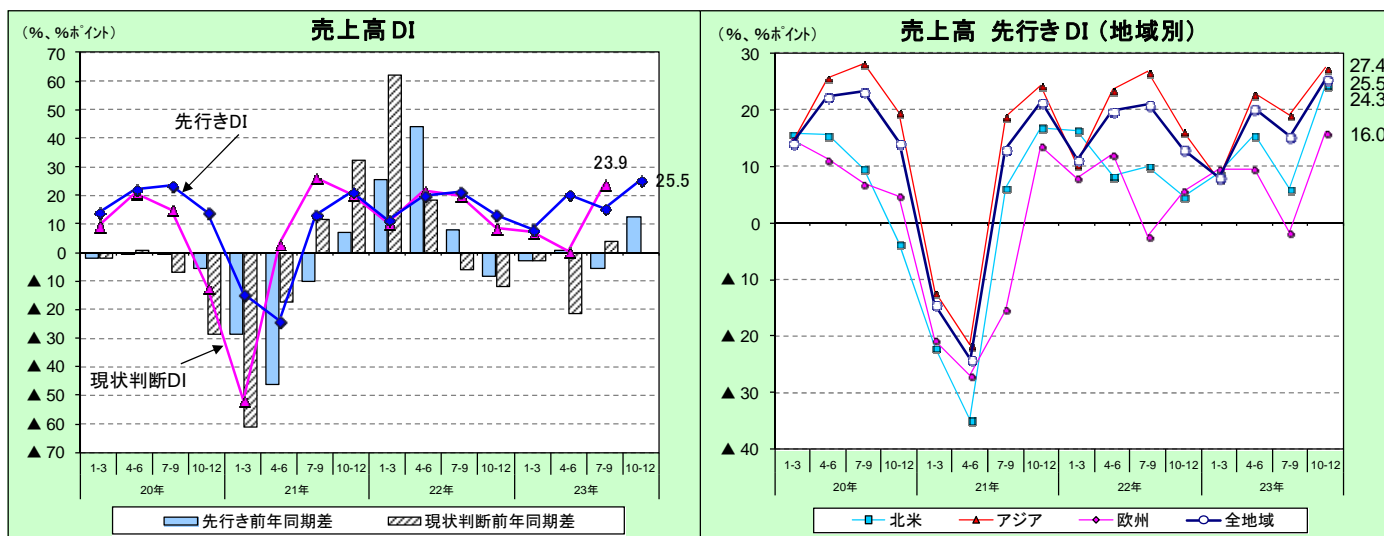
- 現状判断 DI は、26.5 と 2 期ぶりのプラス水準。前年同期差は、16.0 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準。特に、前期減少した輸送機械の高まりが目立つ。
- 先行き DI は、24.3 と 10 期連続のプラス水準。前年同期差は、19.7 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準。前年同期差は電気機械を除きプラス。

#### <アジア>

- 現状判断 DI は、26.2 と 10 期連続のプラス水準。前年同期差は、0.8 ポイントのプラス。主要 4 業種はプラス水準。ASEAN4<sup>(※2)</sup>（29.8）、中国<sup>(※4)</sup>（24.2）、NIEs3<sup>(※3)</sup>（15.3）はプラス水準で推移。
- 先行き DI は、27.4 と 10 期連続のプラス水準。前年同期差は、11.2 ポイントのプラス。主要 4 業種はプラス水準。ASEAN4（26.7）、NIEs3（26.6）、中国（26.6）はプラス水準で推移。

#### <欧州>

- 現状判断 DI は、1.6 と 4 期連続のプラス水準。前年同期差は、7.2 ポイントのプラス。主要 4 業種は、化学がマイナス、他はプラス。
- 先行き DI は、16.0 と 2 期ぶりのプラス水準。前年同期差は、10.3 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準。前年同期差は、はん用等機械、化学がプラスに転じたが、電気機械はマイナスに転じた。



※ 1 主要 4 業種： 全 12 業種中、化学、はん用等機械（はん用・生産用・業務用機械）、電気機械、輸送機械の 4 業種  
 ※ 2～※ 4 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア NIEs3：シンガポール、大韓民国、台湾 中国：香港含む  
 <参考> DI の詳細は、報告書「海外現地法人の動向」P. 4～P. 15、「統計表」P. 21～P. 41 をご覧ください。

## (2) 設備投資額（有形固定資産（土地を除く）の当期取得額）見通し

### <全地域>

- 現状判断 DI は、17.9 と 9 期連続のプラス水準。前年同期差は、0.4 ポイントのプラス。主要 4 業種は、プラス水準で推移、前年同期差は輸送機械を除きマイナス。すべての地域でプラス水準。
- 先行き DI は、9.5 と 9 期連続のプラス水準。前年同期差は、▲3.3 ポイントのマイナス。主要 4 業種は、すべてプラス水準となり、前年同期差は電気機械を除きマイナス。すべての地域がプラス水準で推移。

### <北米>

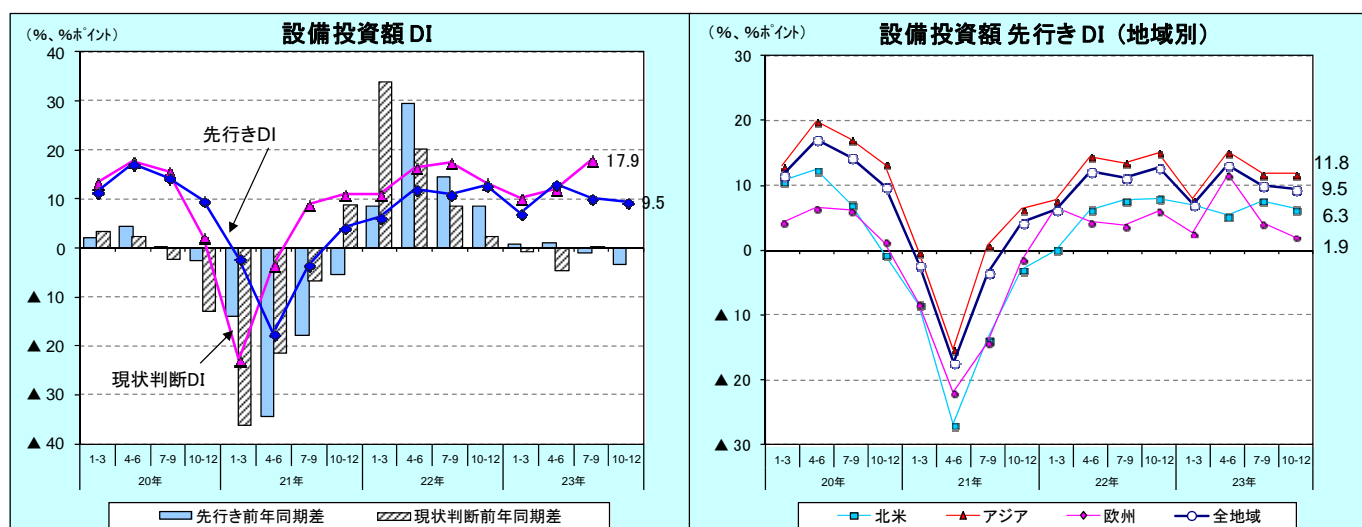
- 現状判断 DI は、20.5 と 9 期連続のプラス水準。前年同期差は、5.6 ポイントと 3 期ぶりのプラス。主要 4 業種は、はん用等機械を除きプラス水準で推移。
- 先行き DI は、6.3 と 7 期連続のプラス水準。前年同期差は、▲1.7 ポイントのマイナス。主要 4 業種は、輸送機械を除きプラス水準となり、前年同期差も輸送機械を除きプラス。

### <アジア>

- 現状判断 DI は、19.3 と 9 期連続のプラス水準。前年同期差は、▲0.7 ポイントのマイナス。主要 4 業種は、プラス水準で推移。ASEAN4 (20.3)、中国 (18.5)、NIEs3 (16.7) はプラス水準。
- 先行き DI は、11.8 と 10 期連続のプラス水準。前年同期差は、▲3.2 ポイントのマイナス。主要 4 業種は、すべてプラス水準となり、前年同期差は電気機械、はん用等機械でプラス、化学、輸送機械でマイナス。ASEAN4 (12.5)、中国 (11.3)、NIEs3 (8.9) はプラス水準。

### <欧州>

- 現状判断 DI は、4.1 と 9 期連続のプラス水準。前年同期差は、▲3.4 ポイントのマイナス。主要 4 業種は、化学、輸送機械、電気機械がプラス水準、はん用等機械がマイナス水準となっている。
- 先行き DI は、1.9 と 8 期連続のプラス水準。前年同期差は、▲4.1 ポイントのマイナス。主要 4 業種は、化学はプラス水準を維持しているが、輸送機械がゼロ、はん用等機械、電気機械はマイナス水準となり、前年同期差は化学を除きマイナス。



### (3) 従業者数見通し

#### <全地域>

- 現状判断 DI は、13.3 と 9 期連続のプラス水準。前年同期差は、1.3 ポイントと 2 期ぶりにプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準となり、前年同期差は化学が 9 期ぶりにマイナス、電気機械が 4 期連続でマイナスとなっているが、はん用等機械が 8 期連続でプラス、輸送機械が 4 期ぶりにプラスとなった。すべての地域でプラス水準。
- 先行き DI は、9.8 と 9 期連続のプラス水準。前年同期差は、2.7 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準となり、前年同期差は化学、電気機械がマイナス、輸送機械、はん用等機械がプラス。すべての地域でプラス水準。

#### <北米>

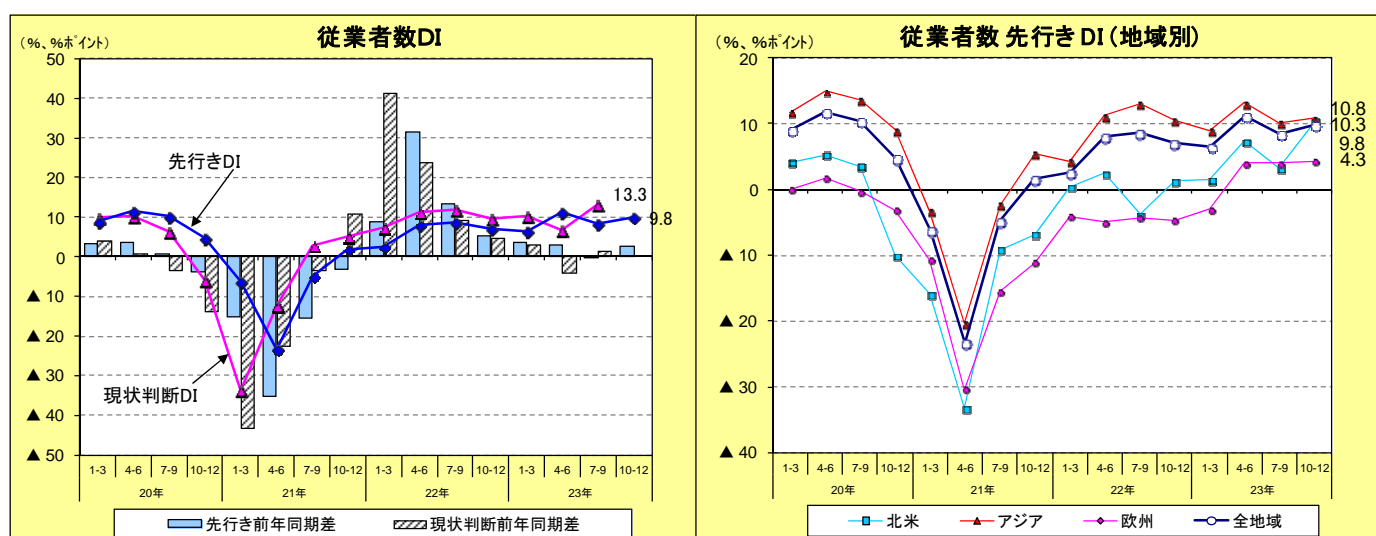
- 現状判断 DI は、12.3 と 7 期連続のプラス水準。前年同期差は、8.5 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてでプラス水準。
- 先行き DI は、10.3 と 5 期連続のプラス水準。前年同期差は、9.0 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてでプラス水準となり、前年同期差は電気機械を除きプラス。

#### <アジア>

- 現状判断 DI は、15.2 と 9 期連続のプラス水準。前年同期差は、▲0.6 ポイントのマイナス。主要 4 業種は、すべてプラス水準。中国 (16.2)、ASEAN4 (13.4)、NIEs3 (11.6) はプラス水準。
- 先行き DI は、10.8 と 9 期連続のプラス水準。前年同期差は、0.3 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準となり、前年同期差は、輸送機械、はん用等機械がプラス、電気機械、化学がマイナス。ASEAN4 (12.6)、中国 (9.1)、NIEs3 (6.2) はプラス水準。

#### <欧州>

- 現状判断 DI は、1.0 と 4 期連続のプラス水準。前年同期差は、2.5 ポイントのプラス。主要 4 業種は、輸送機械を除きプラス水準。
- 先行き DI は、4.3 と 3 期連続のプラス水準。前年同期差は、9.0 ポイントのプラス。主要 4 業種は、輸送機械を除きプラス水準となり、前年同期差はすべてプラス。



## 2. 実績

### (1) 売上高実績

#### <全地域>

○売上高実績（平成 23 年 4-6 月期、ドルベース）は、2362 億ドル。前年同期比(\*) は 4.6%増と 7 期連続のプラス。主要 4 業種は、化学が同 15.2%増、電気機械が同 3.4%増と 7 期連続のプラス、はん用等機械が同 13.7%増と 6 期連続のプラス、輸送機械は同▲2.3%減と 7 期ぶりのマイナス。北米は同▲7.4%減と 6 期ぶりのマイナス、アジアは同 7.2%増と 7 期連続、欧州は同 17.9%増と 6 期連続のプラス。

○売上高実績（平成 23 年 4-6 月期、円ベース）は、19.3 兆円。前年同期比は▲7.1%減と 6 期ぶりのマイナス。

#### <北米 : 売上高シェア 24.1%>

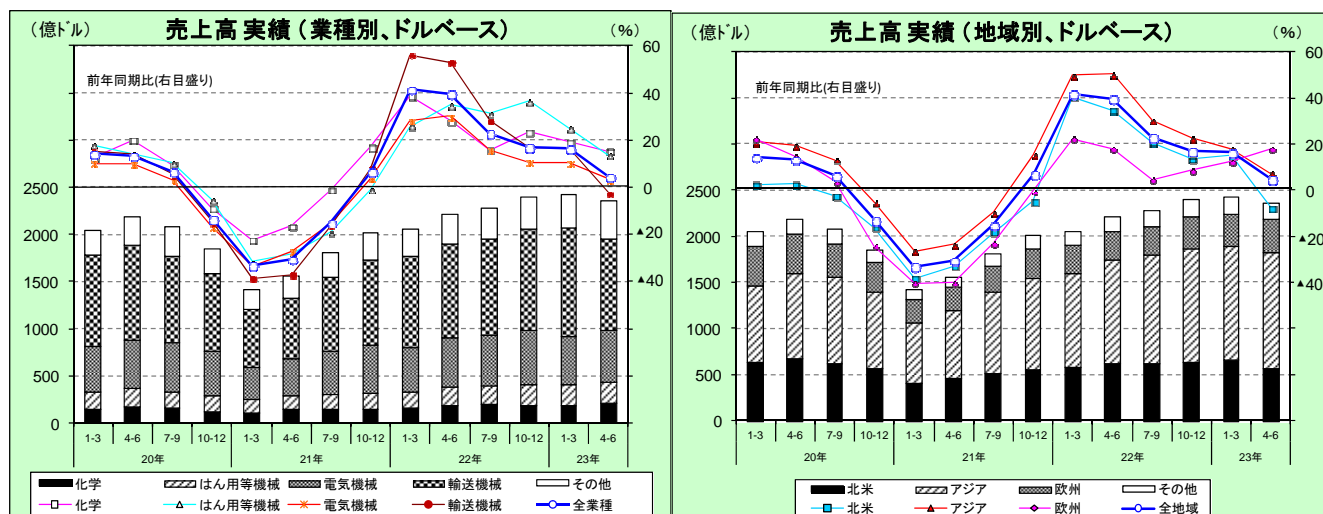
○売上高実績（ドルベース）は、568 億ドル。前年同期比は▲7.4%減と 6 期ぶりのマイナス。主要 4 業種は、輸送機械が同▲21.4%減と 6 期ぶりのマイナスを示し、はん用等機械が同 14.1%増、化学が同 9.0%増、電気機械が同 3.3%増といずれも 6 期連続のプラス。

#### <アジア : 売上高シェア 53.4%>

○売上高実績（ドルベース）は、1260 億ドル。前年同期比は 7.2%増と 7 期連続のプラス。主要 4 業種は、化学が同 18.1%増、はん用等機械が同 10.5%増、電気機械が同 3.8%増、輸送機械が同 3.1%増といずれも 7 期連続のプラス。NIEs3(同 9.6%増)、中国(同 8.3%増)、ASEAN4(同 5.9%増) は 7 期連続のプラス。

#### <欧州 : 売上高シェア 15.4%>

○売上高実績（ドルベース）は、363 億ドル。前年同期比は 17.9%増と 6 期連続のプラス。主要 4 業種は、電気機械が同 2.8%増と 5 期連続のプラス、はん用等機械が同 23.5%増、輸送機械が同 22.7%増といずれも 6 期連続のプラス、化学が同 15.0%増と 7 期連続のプラス。



※：前年同期比は、前年度から継続して調査対象となっている現地法人（新規設立企業を含む）のみの集計値から算出しており、実績値から求めた数値とは異なります。実績の詳細は、報告書「海外現地法人の動向」P. 16～P. 27、「統計表」P. 1～P. 20 をご覧ください。



## (2) 設備投資額（有形固定資産（土地を除く）の当期取得額）実績

### <全地域>

- 設備投資額実績（平成 23 年 4-6 月期、ドルベース）は、68.7 億ドル。前年同期比は 38.7%増と 5 期連続のプラス。主要 4 業種は、化学が同 48.8%増と 2 期ぶりのプラスとなったほか、はん用等機械が同 88.8%増、輸送機械が同 66.6%増といずれも 4 期連続、電気機械が同 10.3%増と 6 期連続のプラス。アジア、欧州、北米がプラス。
- 設備投資額実績（平成 23 年 4-6 月期、円ベース）は、5610 億円。前年同期比は 23.1%増と 5 期連続のプラス。

### <北米 : 設備投資額シェア 15.6%>

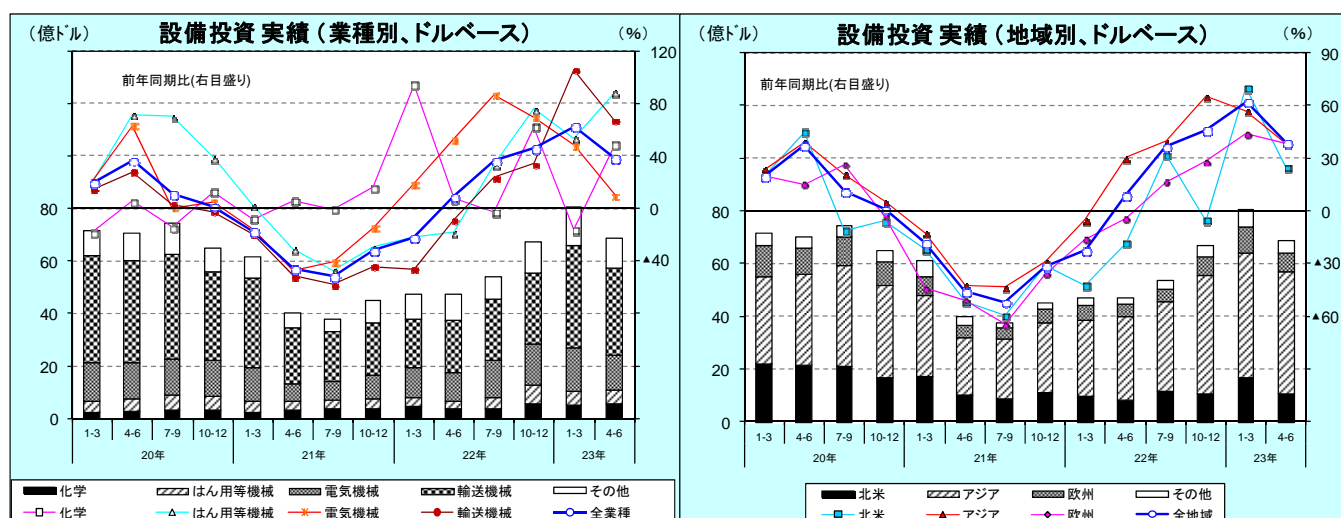
- 設備投資額実績（ドルベース）は、10.7 億ドル。前年同期比は 24.7%増と 2 期連続のプラス。主要 4 業種は、輸送機械が同▲0.9%減と 2 期ぶりのマイナス、はん用等機械が同 100.2%増、化学が同 92.0%増といずれも 3 期連続、電気機械が同 21.5%増と 5 期連続のプラス。

### <アジア : 設備投資額シェア 67.7%>

- 設備投資額実績（ドルベース）は、46.5 億ドル。前年同期比は 38.5%増と 5 期連続のプラス。主要 4 業種は、輸送機械が同 128.0%増と 5 期連続、はん用等機械が同 88.7%増と 4 期連続、化学が同 22.7%増と 2 期ぶりのプラス、電気機械が同 3.7%増と 6 期連続のプラス。ASEAN4（同 42.3%増）、中国（同 29.5%増）、NIEs3（同 10.0%増）はプラス。

### <欧州 : 設備投資額シェア 10.0%>

- 設備投資額実績（ドルベース）は、6.9 億ドル。前年同期比は 38.4%増と 4 期連続のプラス。主要 4 業種は、化学が同 95.7%増と 2 期ぶりのプラス、電気機械が同 90.6%増と 3 期ぶりのプラス、はん用等機械が同 57.3%増と 2 期ぶりのプラス、輸送機械が同 4.5%増と 4 期連続のプラスとなった。



### (3) 従業者数実績

#### <全地域>

○従業者数実績(平成23年6月末)は、362.6万人。前年同期比は2.9%増と6期連続のプラス。  
主要4業種は、はん用等機械が同7.9%増と7期連続、輸送機械が同6.5%増と6期連続、化学が同3.6%増と10期連続のプラスとなったが、電気機械は同▲2.1%減と6期ぶりのマイナス。すべての地域でプラス。

#### <北米 : 従業者数シェア 11.2%>

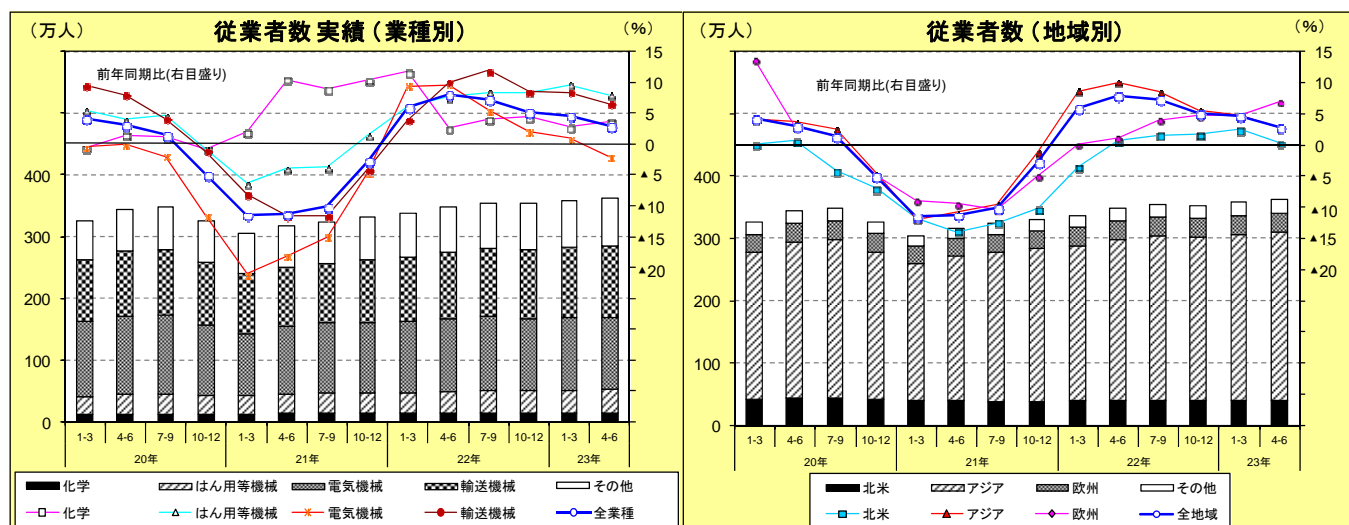
○従業者数実績は、40.6万人。前年同期比は0.3%増と5期連続のプラス。主要4業種は、輸送機械が同▲2.8%減と5期ぶりのマイナス、はん用等機械が同5.0%増と3期連続、電気機械が同3.1%増と14期ぶりのプラス、化学が同0.8%増と6期連続のプラス。

#### <アジア : 従業者数シェア 74.2%>

○従業者数実績は、269.1万人。前年同期比は2.7%増と6期連続のプラス。主要4業種は、電気機械が同▲2.6%減と6期ぶりのマイナス、はん用等機械が同8.3%増、輸送機械が同8.1%増といずれも7期連続、化学が同5.3%増と10期連続のプラス。ASEAN4(同3.3%増)、NIEs3(同0.5%増)、中国(同0.1%増)はプラス。

#### <欧州 : 従業者数シェア 8.7%>

○従業者数実績は、31.5万人。前年同期比は6.9%増と6期連続のプラス。主要4業種は、化学が同▲0.5%減と2期連続のマイナス、輸送機械が同10.3%増と6期連続のプラス、はん用等機械が同7.5%増、電気機械が同5.1%増といずれも4期連続のプラス。



#### <参考> 海外経済

世界の景気は、全体として回復が弱まっており、アメリカでは、極めて弱いものとなっているほか、ヨーロッパ地域では、持ち直しのテンポが緩やかになっている。先行きについては、弱い回復が続くと見込まれる。ただし、景気が下振れするリスクがある。また、このところの金融資本市場の動きに留意する必要がある。アメリカでは、極めて弱い景気回復になっている。先行きについては、極めて弱い景気回復が続くと見込まれる。また、失業率の高止まりや住宅価格の下落等により、景気が下振れするリスクがある。さらに、このところの金融資本市場の動きや財政緊縮の影響に留意する必要がある。アジア地域については、中国では、景気は内需を中心に拡大している。先行きについては、拡大傾向が続くと見込まれる。ただし、不動産価格や物価の動向に留意する必要がある。インドでは、景気は内需を中心に拡大しているが、拡大テンポがやや緩やかになっている。先行きについては、引き続き内需が堅調に推移するとみられることから、拡大傾向が続くと見込まれる。ただし、物価上昇によるリスクには留意する必要がある。その他アジア地域では、総じて景気は回復しているが、回復テンポが緩やかになっている。先行きについては、緩やかな回復傾向が続くと見込まれる。ただし、欧米向け輸出の減少や物価上昇により、景気が下振れするリスクがある。ヨーロッパ地域では、景気は持ち直しのテンポが緩やかになっている。ドイツでは回復のテンポがこのところ緩やかになっており、フランスでは足踏み状態にある。英国では足踏み状態にあるが、一部に弱い動きがみられる。ヨーロッパ地域の先行きについては、極めて緩やかな持ち直しが続くと見込まれる。ただし、各国の財政緊縮による影響に留意する必要がある。また、一部の国々における財政の先行き不安を背景に金融システムに対する懸念が高まり金融資本市場に影響を及ぼしていること、高い失業率が継続すること等により、景気が低迷するリスクがある。  
(「月例経済報告」(平成23年9月)より抜粋)